

山口情報芸術センター [YCAM] 展覧会

あそべる図書館— Speculative Library

2023年10月28日（土）～2024年2月25日（日）

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ

**みんなの知識やアイデアを集めて、
ともに学び、ともにあそぼう**

山口情報芸術センター [YCAM] では、世界中から知識やアイデアを集め、知恵を生み出すプラットフォームとしての展覧会「あそべる図書館— Speculative Library（スペキュラティブ・ライブラリー）」を開催します。

YCAMでは近年、生活におけるアートの「価値」について議論し、「学びの場」としてのアートセンターの可能性を探求する試みを展開しており、2021年にはインドネシアを拠点とするアーティスト・コレクティブのセラムの展覧会などを開催してきました。

本展はこれまでの試みを発展させた展覧会です。会場となるホワイエに設置された大型のドームを起点に、来場者の知識や思い出、アイデアを引き出し、保管し、交換する7つのプログラムを常に展開しており、自由に参加することができます。ほかにも会期中にはワークショップなどのイベントも多数開催します。

異なる世代やバックグラウンドを持つ人々が「学び」についての対話を重ねる本展を通じて、協働や教育の新しい可能性に触れるきっかけとなるでしょう。この機会にぜひご参加ください。



セラム「知識のマーケット」（2021年／撮影：谷康弘）

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

[お問い合わせ]

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7

TEL：083-901-2222 FAX：083-901-2216 メールアドレス：press@ycam.jp ウェブサイト：www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media

地域とアートセンターの関係を再考するプロジェクトの総決算



セラム「知識のマーケット」(2021年/撮影:谷康弘)

YCAMでは開館以来、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現の探求をおこない、美術や舞台芸術の分野においてオリジナル作品を多数制作、発表してきました。また作品制作と同時に、作品と鑑賞者をつなぐ教育プログラムの開発、さらに近年は、YCAMが培ってきたメディア・テクノロジーに関する知識や経験を、地域課題や地域資源に結びつける取り組みにも力を入れています。

開館から20年という節目を前に、2021年度からは「オルタナティブ・エデュケーション」と題して、地域コミュニティや市民のための学びの場としてのアートセンターの役割を再考する試みを開始しました。2021年9月には、アートを通して教育問題に取り組んできたインドネシアを拠点に活動するアーティスト・コレクティブ、セラムの活動を紹介する展覧会「クリクラボー 移動する教室」を開催。教育における「学び」の概念や、教師と生徒の役割に再考を促す彼らのプロジェクトをご紹介します。また同年には、アートセンターの社会的な役割に対して共通の問題意識を持つ国内外の有識者を招き、「オルタナティブ・エデュケーション」をテーマにカンファレンスを開催しました。2022年も引き続き、国内外の有識者を招いたカンファレンスを開催するなど、継続的に活動を展開してきました。

その成果として位置付けられるのが「あそべる図書館— Speculative Library」です。本展では、アートの道具としての側面に注目、特に知識やアイデアの流通から、新しい価値を生み出すプロセスに焦点を当てたプログラムを多数ご紹介します。

■ クリクラボー 移動する教室



セラム「理想の学校」(2021年/撮影:谷康弘)

2021年10月30日～2022年2月27日

「クリクラボ (Kurikulab)」とは、インドネシア語で「カリキュラム」を意味する「Kurikulum」と、英語で「実験室」を意味する「Laboratory」を組み合わせた造語で、これは教育に対する彼らの実験的な姿勢を示している。

イベントなどの形式で展開する、セラムの3つの作品「クリクラボ」「理想の学校」「知識のマーケット」で構成されており、これらはいずれも人々との対話を促すもので、様々なトピックや形式で展開した。

■ YCAM OpenLab 2022

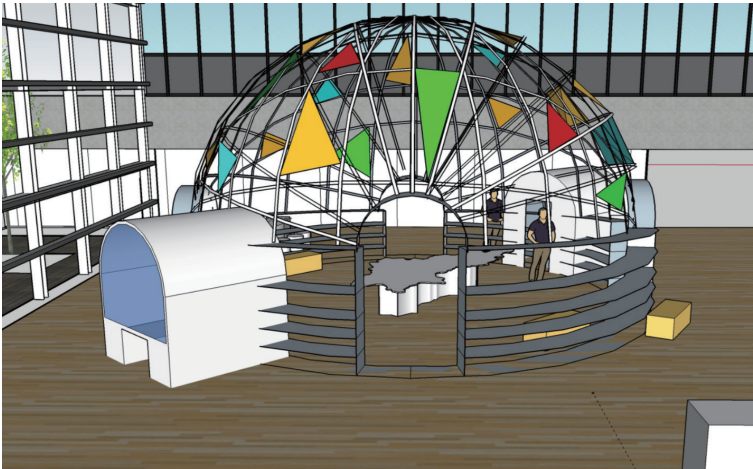
アートは使える？— くらしとの接点を探る

2022年9月11日

登壇：アリスティア・ハドソン、ジョン・バーン、堀内奈穂子、鈴木啓二郎、角麻衣子、会田大也、レオナルド・バルトロメウス、今野恵菜

「有用芸術 (useful art)」というコンセプトについて、国内外のゲストとともに語り合うカンファレンス。「有用芸術 (useful art)」というコンセプトとその実践例を、参加者との対話も交えながら共有し、政治、経済、健康、環境などの側面においてアートを道具として用いる可能性を検討するとともに、そうした価値を生み出すアートセンターのモデルについても検討した。

アイデアや知識をシェアし育む学びの場としての展覧会



会場に設置されるドーム型のスペース

本展の会場となるホワイエには、来場者の「知識」「思い出」「アイデア」を記録できる仕掛けや、それを共有するための機能があります。これらは来場者同士の創造的なやりとりを促すもので、そのトピックはYCAMのある山口市にまつわること、個人的な悩み、社会問題など、多岐に渡ります。本展自体が、多様な価値観や知見が蓄積され、共有されるプラットフォームとして機能していきます。

メモリー・クエスト

山口市内の町並みを擬似的に散歩しながら、みんなの記憶や思い出を旅するゲームを制作予定です。来場者の語ったストーリーを聞いたり、読んだりすることができます。

Arte Útil (アルテ・ウティル) アーカイブ

Arte Útilとは、クリエイティブに社会を変える方法を想像し、実際にそれを実行する「有用芸術」を指します。ここでは、世界中から集めた事例をピックアップし、紹介します。

どこでもアート鑑賞

山口にゆかりのあるアーティストや来場者から集めた作品や思い出の品々を展示し、貸し出します。

開催概要

あそべる図書館ー Speculative Library

2023年10月28日(土)～2024年2月25日(日) 10:00～19:00

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ

入場無料

休館日:火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月28日～1月3日)

主催: 山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援: 山口市教育委員会

助成: 令和5年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

共同開発: YCAM InterLab

企画制作: 山口情報芸術センター [YCAM]

関連イベント

プレイベント: みんなでつくろう! 竹ドーム編

9月30日(土)、10月1日(日) 各日 9:00～17:00

会場: ホワイエ 参加無料 ※要申込(先着順)

定員: 各回20名 対象: 高校生以上 講師: 山口晶

オープニングイベント: みんなでつくろう! サイン編

10月28日(土) 14:00-16:00

会場: ホワイエ 参加無料 ※要申込(先着順)

対象: 小学生以上 定員: 各回20名 講師: 平松るい

オープニング・パーティ

10月28日(土) 17:00～19:00

会場: ホワイエ 参加無料

あそべる図書館の開館を記念したパーティです。ドリンクやスナックをつまみながら会場であそんでみましょう。

一緒に考えるミーティング

11月11日(土)、18日(土)、12月2日(土)、16日(土)

2024年1月13日(土)、27日(土)、2月3日(土)、17日(土)、25日(土)

各日 14:00～15:30

会場: ホワイエ 参加無料 定員: 各回 50名

さまざまな知識とアイデアを持つゲストが世界中から会場に集い、レクチャー形式でさまざまなトピックについて参加者とともに考えるミーティングイベントです。

Arte Util ワークショップ

随時開催

会場: ホワイエ 参加無料 定員: 各回 10名

「Useful Art (有用芸術)」と呼ばれる役に立つアートの事例を使って、私たちは、私たちの街ではどんなことが考えられるかを話し合う、ディスカッション形式のワークショップです。

■ 申込方法

下記ウェブサイトにて用意された申込フォームに必要事項を記入のうえ、お申し込みください。

ウェブサイト:

www.ycam.jp